

2023年5月

神戸大学グリークラブ
OBのみなさま

ごあいさつと近況報告

拝啓

みなさまにおかれましては、いかがお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。

平素は神戸大学グリークラブをご支援いただき、誠にありがとうございます。
略式ながら当団HP上で、本文をもってご挨拶・ご報告とさせていただき次第でございます。

ご承知の通り、COVID-19感染症にかかるさまざまな規制も緩和され、諸事少しずつ平常に戻りつつある状況を受け、神戸大学においても活動制限レベルが0（制限なし）となりました。課外活動においても、コロナ禍のような厳しい制限はなくなっております。

一方、当団では団員不足の状況が続いております。昨年2022年度はまだ厳しい制限があり、当時2年生の1名の入部に留まっております。本2023年度についても、新歓活動については制限が残っており、何とか不自由な中での新歓活動を行いました。その結果、1名の入部となっております。

以上のような状況ですので、昨年度は4年生3名（当時）と新入部員（当時2年生）1名の計4名での活動を続けておりました。また、本年度は、大学院生2名、3年生1名、および新入部員の1年生1名と、やはり計4名でのスタートとなっております。つきましては、小職が顧問としてできるだけ練習に参加して、何とかパートを揃えて歌うことを続けております状況です。

以上のような少人数のため、メンバーの日程を調整して、できるだけ参加者の多い日程を探って、練習を行う活動が昨年度から続けております。そのような状況では、運営的に無理があるため、昨年2022年度は定期演奏会の開催を、残念ながら見送らざるを得ない状況でした。しかしながら、練習の成果を披露する場を設けたく、2022年12月24日（土）には、小職が指揮者を務める「混声合唱団ノイエ・カンマー・コール」のクリスマスコンサートに、賛助出演という形で出演し、1ステージだけですが演奏を行う機会を設けました。演奏した曲は、「彼」（木下牧子）。「夜もすがら」（千原英喜）、および愛唱歌2曲で、15分あまりの小さなステージですが、練習を重ねて、無事にステージを務めることができました。（小職もベースを歌って加わりました。）

当日は、一般の聴衆50名ほどに加えて、20名あまりのOBのみなさまが駆けつけてくださり、温かいご声援を頂きました。遠路お越しくくださった方々もあり、大変ありがたく感謝しております。まことに、ありがとうございました。

さて、本年度の活動についてですが、昨年同様の状況であるため、運営的に大きな活動は無理な状況です。したがって、定期演奏会は本年度も開催は難しいものと思われま。す。何らかの形で、演奏の機会を設けたいと考えておりますが、現在はその方法を模索しております。

また、これはお願いになりますが、上述の通り運営的に従前のような多岐にわたる活動・対応が難しい状況になっておりますことをご理解いただきますようお願い申し上げます。OBのみなさまからのご要望等にも、なかなか迅速に対応できない面が多々ございますことを、どうぞご了承いただきますよう、何卒よろしくようお願い申し上げます。また、コロナ禍以前に発行しておりました「会報」の発行も難しいため、HPでのご挨拶と、メールでのご連絡にさせていただきますたく存じます。

まず当面は、メンバーを集めて活動を継続することに専念したいと部員ともども考えております次第です。

以上のように、団員減少により厳しい状況が続いておりますが、何とか活動を継続するよう尽力したいと考えております。つきましては、何かと至らない点は多々ございますが、どうぞ引き続きご支援賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。

敬具

神戸大学グリークラブ顧問・技術顧問
阪上公博（工学部教授，T82）